

ヤマトの聲

<http://www.jomaca.join-us.jp/koe.pdf>

令和五年元旦 山田 学まなぶ

arigatou@image.ocn.ne.jp

ヤマトの平民

平安時代から、昭和の戦前まで、千年間、変らずに守られた、旧いかなづかひ。それにこそ、ヤマトの声の表明は、ありませんか。ここは、旧いかなづかひにて、おつきあひをいただけますか。

日本人は、劣等の民族、ですか。

戦争に負け、GDP増大闘争に、勝ちさうと思つたら、それも今は、負けつつあるかも…。なににより、日本人らしい、やすらぎの生活と人生の仲間が、欠乏してはゐませんか。

日本人として、〈善〉は、要りませんか。〈眞〉は、要りませんか。〈信〉は、要りませんか。〈美〉は、要りませんか。〈健〉は、要りませんか。

製造業の利益のため、生産された、物品は、ある程度、断捨離もする。

生産の目的を、ひとりひとりの体内の〈快〉に、しませんか。〈無〉^む＝不快が無いに、しませんか。

日本の先人を、想ひ出しませんか。縄文から弥生。弥生から古墳。古墳から飛鳥。

飛鳥から奈良・平安。平安から鎌倉・室町・戦国。戦国から江戸。江戸から明治・大正・昭和戦前。戦前から昭和戦後・平成・令和。

先人の生活と人生を、継ぎつつ、〈諸個人の自立と協同〉こそを、しませんか。さうして、いつかは、〈諸民族の自立と協同〉こそへ、旅立ちませんか。

十六世紀より、西欧人が主導した、資産増殖闘争。それも、次のため、必然なのであつた。建築と運輸と金融と通信の、発達…。

さて、今に欠乏してゐるのは、なにか。資産増殖闘争の人間社会から、生産調和体の人間社会へ。それを具体化してゆく、提案です。

その提案にふさはしいのは、だれか。地球広しといへど、実は、〈ヤマトの平民〉なのです。一万年以上の、縄文の平和の記憶も、宿してゐるから。とくに、子どもを産み育てる、本能として賢い、女性です。

なのに、ダヴオス会議。まだ、資産増殖闘争にとらはれ、せつかく発達した通信を、虚偽と恐怖に、染める……。コロナ・ワクチン。ウクライナ偏向報道。温暖化幻想。

さうして、西欧人以外を、人口削減したいのかい。

ここに、〈ヤマト平民会議〉を、興しませんか。やがては、ダヴオス会議に、退散していただくべく…！

十七世紀よりの西欧学問の、延長として、ダヴオス会議は、化学研究や、遺伝研究

や、計測制御研究に、とらはれすぎ。自然天然の〈一面〉に、とらはれすぎ。

気がついてみれば、わが縄文先人のほうが、自然天然の〈全面〉についての感性が、細やかだった……

縄文るねっさんす！ 生産調和体としての人間社会へ、〈次の学問〉も、必須なのです。

わたくし

実は、世間から離れ、五十年かけ、〈次の学問〉を、蓄積してゐる、唯一人間？が、わたくしです。

わたくしの父は、陸軍士官学校。満洲にゐたら、ソ連が攻めてきた。シベリアへ抑留。仲間の半数近くが、絶命。飢餓・寒さ・逃亡時射殺……。ソ連思想に賛成せねば、生きて帰れぬ、情況。父は「優等生」となり、帰国後は、左翼闘士。が、世界左翼中枢が、日本共産党を、批判した事件あり。その混乱にて、父は活動から離脱。

名古屋駅近くにて、わたくしが生れ育ち、高校二年の夏休み。「おれが生死の境にあつた、シベリアを体験せい！」と、父はわたくしに、二週間分の旅費をくれた。今は昔、その一九七二年当時、日本のマスメディアは、ソ連を「理想の国」と、喧伝してゐた。が、わたくし、ソ連人の生活に接し、日本人の生活より愉しくないと、幻滅。なにが、〈眞智〉、すなはち、健康平和な、現実の認識なのか。これを、だれにも、なにも、とらはれず、以降五十年間、追究しつづけました。

とくに、マルクスやエンゲルスは、どの部分が正しく、どこから誤りで、さうしてまた、大きく不足してゐたのか。マルクスが、ロスチャイルド家と、一定の関係にあつたことは、事実と、思ひます。が、当時のロスチャイルド家も、マルクスの学問内容を、まともに理解できてゐたとは、考へられない。資産増殖闘争の人間社会から、生産調和体の人間社会へ。それを具体化してゆく、提案にて、マルクスに学べる部分は、充分に、ある。事実は小説よりも奇なり。そも、レーニン以降は、マルクス、エンゲルスを、まともに継承してゐない！ いはば、隠されたマルクスに、学べる部分は、充分に、ある。

わたくし、東大中退です。東大中退といふ、一点のみにて、有名なホリエモンさんと、同じです。ただしわたくしは、まだ無名。わたくしより数年先輩の、学生運動とも、無縁。むしろ、入学四年めは、ボート部の主務でした。工学部の、センサー・コンピュータ・ロボット・通信について学ぶ、花形学科にゐた。一方、ボート部の関連にて、ヨガも求めた。コンピュータと人間の矛盾！ 必然と意志の矛盾！ この、学問の本質問題に挑む、英雄たらむと、東大を、中退したのです。わたくしが求める、参考情報は、当時の東大に、ありませんでした。この本質問題、今は、かう、解決してをります。

世界の必然におまかせし、自身の肚はらのままに生きる。

次の学問

マルクスとエンゲルス両人の、師たる、ヘーゲルは、あらゆる分野の学問を、まとめようとした。ただし、西欧宗教の観念から、まとめようとしたため、事実と整合せぬ部分も、多く出た。このヘーゲルに対し、すべてを現実の認識から、組み直すと、決意した弟子が、マルクスとエンゲルスなのです。でも、そんな地道なこと、両人の生前に、実現できるはずもなかった。これまた、事実は小説よりも奇なり。両人の決意を継いだのは、社会主義圏ではない、わが日本社会の、しかも、在野の学者たちなのでした。東大に限界を感じたわたくしも、その弟子のひとりなのです。わたくしが蓄積してゐる、〈次の学問〉は、以下でございます。

あらゆる分野の学問を、視野に入れ、現実の認識から、その本質論のみを、まとめた。

人間は、世界をどう認識し、どう言語などに、表現してゐるか。

やまとことばの世界観と音韻について、まとめた。

認識と労働に、着目し、客体学から主体学への、移行を、なした。

アインシュタインの限界について、指摘した。

数学を、西欧宗教から解放し、現場の方法を論理化する、数学の基礎の論。

生物系と個人をめぐり、物理学と、生理学と、認識学と、さらに道徳学を、統一。

常温にての、核融合や核分裂の可能性について、まとめた。

わたくしの父が発明した、〈気功を工業化する技術〉。これを説明するため、縄文の土器や土偶にもヒントを得つつ、物理学や生理学に、ふたつの新しい概念を提唱。

〈次の学問〉は、このほかにもありますが、数年前、わたくしが中心の講演会に、ある情報戦の専門家を、ゲストとしてお迎えした。そのお方から、「山田 学さんこそ、UFOや異星人を迎える準備において、一流です。」といふ主旨の、ご発言をいただいた。

わたくし、浮世の短絡評価により、邪魔されたくなく、江戸の鎖国のごとく、孤高の無報酬活動を、つづけてまゐりました。(わが闘争) まあ、そろそろ、資金繰りも、限界です。危険なダヴォス会議に、ヤマトの声として、〈ヤマト平民会議〉として、対抗すべく、有償事業化いたします！ さまざまな人格と能力の方がたから、ご協力をいただけますか。とくに、六十歳代にも、わたくしのやうな、究極の異端II未来派がゐただけですか。とくに、若い世代にこそ、期待をいたします。

わたくしには、日本人ばかりの九名師匠があり、未来派ゆゑ、わりと無名の方がたも多いが、いづれの方がたも、かのヒロシマ、ナガサキが、根本刺激となり、学問・思想を、形成された。そして、右翼系と左翼系の、究極の論理対話。すでにわたくしの胸と肚のうちにては、これも、成し遂げてをるのです。

本質論のわたくしの文章は、どうしても難解。ですが、わたくしの語り口は、わりと軽やかだといふ、評判もあり。わたくしの、究極の精神緊張の人生に、バランスをとるため、酒とカラオケが趣味であります。

声

マルクスに大きく不足してゐたのは、これです。

からだといころの健康とは、なにか。いころと社会の平和とは、なにか。いびい普通の生活そのものを、〈冥想〉とするヨガ、なのです。四六時中の瞬間瞬間にて、ひとりひとりが体内によく注意し、〈快〉を、求める。〈無〉^ち＝不快が無いを、求める。ここからこそ、〈諸個人の自立と協同〉は、あります。自身の体内によく注意するからこそ、他者の体内についても、予感できる。ある地域にて、協同の生活や生産をはじめるとしても、その前に、必要な自覚なのです。一方、社会への無理な統制に、氣づくためにも、必要な個人規律です。

戦後日本の、GDP増大を支へ、今は中共などに移転した、諸産業を、発想の起点とするから、思考停止……。ひとりひとりの体内を、発想の起点とするなら、日本社会の事業は、まるで未開拓の、荒野です。

地球において、(外部への)市場拡張可能性(いはゆる、フロンティア)が、無くなつてゐる。だから、タヴォス会議は、虚偽や恐怖まで動員し、異常な市場拡張を試みてゐる。かつて、鎖国により、市場拡張可能性を、人為的に断ちきつた、わが江戸時代の、日本列島内における、創意工夫のあれこれに、これからの人間社会全体が、学びべきものもある。

わたくしの〈次の学問〉は、資本制人間社会にある問題を、本質的に解決してゆく、プロフェッショナルとしても、必要な提案を、させていただけたいです。(根本転換 それに参画する、ヤマトの声を、編集させていただきます。愉しみのひろまりとして！ 話題のウェブ・スリーも、試みませう。一方、ヤマト風の衆智編集技法たる、^下川喜田二郎先生の「KJ法」も、復興してみませう。

西欧を超えるやすらぎ創るべくヤマトの声よ立ちのほりませ

日本人として、〈善〉(規範)は、要りませんか。〈真〉(学問)は、要りませんか。〈信〉(祈り)は、要りませんか。〈美〉(芸術)は、要りませんか。〈健〉(養生)は、要りませんか。

日本民族はご皇統を中心に、〈日本協同社会〉を、創る。やがては、〈地球協同社会〉への、起点となる。それを保護し、推進する、日本国の統治(外交・通商貿易・金融政策・軍事・治安警察)の、強化は、緊急を要します。

ヤマトの声。〈ヤマト平民会議〉。日本社会の民間から、究極は、地球規模の、諸民族調和と、資産循環への、起点となる。これが、純情な日本民族の、新時代の誇りなのです。

わたくしどもの〈仕事〉は、人民に〈仕〉へる〈事〉です。日本の全人民は、〈日本協同社会〉へ、そして地球の全人民は、〈地球協同社会〉へ、運動仲間と、みなさせていただきます。